

週日の説教

金 大烈 神父 2010年8月17日(火)

《幸せになるために - 本当に必要なものは何なのか - 》

今日は、私が5、6年前に見た感動的なインドの映画を紹介させていただきます。

映画の題名は『天国の子ども達』でした。舞台は、インドの首都ニューデリーから少し離れた小さな村です。そこに小学校5年生のアーリーという少年がいました。映画は、アーリーの妹が小学校に入学するところから始まります。

周りの子どもたちもみんな同じなのですが、アーリーの家も貧しくて、妹には運動靴がなく、スリッパのようなものをはいて入学します。それを見た兄のアーリーは、心を痛めました。母に頼んでも、家には運動靴を買う余裕はなさそうで、「どうすればよいか」といろいろ考えました。しかし、よい答えは見つかりません。その時、壁に貼ってあるポスターが目に入ります。それは、マラソン大会のポスターでした。その大会にはいろいろな賞品があり、3等になれば運動靴がもらえると書いてありました。そこでアーリーは、妹のために頑張って練習をします。大会の日が来て、彼は一生懸命に走りました。いろいろな困難もありましたが、アーリーは走っているうちに夢中になってしまい、気がつくと1等になっていました。

大会の後、賞の授与があります。「1等、アーリー君。」と呼ばれると、彼はうなだれた様子でゆっくりと前に出て、1等を受けます。全然嬉しそうではありません。1等の賞品はユニホームといくつかの品物でした。しかしそれは、彼にとってはいらぬものだったのです。彼はただ運動靴がほしかったのです。だから3等になろうと思って走ったのに、つい夢中になりすぎて、うっかり1等になってしまい、がっかりしてしまったのです。

この映画を見て、このようなことを考えました。

幸せには、見方によっていろいろなものがありますよね。このアーリーという少年を通して私が感じたのは、「この世の中の『幸せ』の基準にはあまり意味がない」ということです。一般的に、こういうことが幸せだ、と言われていても、本当の幸せというものは、自分が心から必要としているものを手に入れることではないかと思ったのです。主人公のアーリーにとっては、1等にもそれ以上の賞品にも、何の意味もなかったのです。彼に必要だったのは、ただ妹のための運動靴だけでした。しかしそれは得られなかったのですよね。

では私達はどうかでしょうか。今の世の中、テレビの番組を見れば、物が欲しくなるような気持ちになります。資本主義、競争主義の社会は、いつでもそのように人々を刺激します。「これを手に入れたら幸せになれる。」とか「ここまで行けばあなたは最高になれる。」とか、そのような雰囲気がこの世の中のどこにでもあります。だから私たちも、それが自分のものになれば幸せになれるのだろう、と錯覚してしまいます。そして、馬鹿なことばかりしてしまいます。それがこの世の流れではないでし

ようか。

しかし、このアーリー少年が見せたように、本当に自分にとって一番必要なものは何なのかに、まず気付くべきです。そしてそれを得よう、手に握ろうと努力することが、意味のある、価値のある自分との闘いになるのではないのでしょうか。もしそのように努力して、それが自分のものになったら、世の中のことでですから限りはあるかもしれませんが、やはり幸せの体験ができるのではないと思います。

今日の福音(マタイ 19:23-30)を見てみますと、イエス様は「**金持ちが天の国に入るのは難しい。らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。**」とおっしゃっていますね。それは常識的に考えてもできないことです。しかしイエス様は「**神は何でもできる。**」とおっしゃいます。結局、その小さい穴を通るためには、自分が穴より小さくなるしかありません。では、小さくなる方法は何でしょうか。それは自分にとって必要じゃないものを取り除こうとする戦いではないのでしょうか。

皆様、この福音、そしてこのインドの小さい映画を通して振り返ってみましょう。

私達はなぜ幸せを感じないで、いつも文句ばかり、不満ばかりで、否定的に自分の人生を見ているのでしょうか。その原因は、自分の愚かさにあるのかもしれませんが。私達の考え方が変化したら、もうすでに握っている幸せが見られるのかもしれませんが。

では、私達にとって本当に幸せな道は何なのでしょう。それは、信仰者にとっての幸せが何なのかを考えてみたらすぐに分かるはず。それは、どのような形であっても救いを体験することです。この世の中で生きているうちに体験する救い、この世が終わってから与えられる救い、その救いが、結局針の穴なのです。その救いの穴に入れるために、自分をどのくらい減らすべきか、無くすべきか、軽くすべきか、そういう面について振り返るべきではないかと思ってみました。

ありがとうございました。